

Q

Revit 連携の[Revit リンク出力]と[Revit(rvt)ファイルの保存]の違い

A

保存するファイル形式と情報が異なります

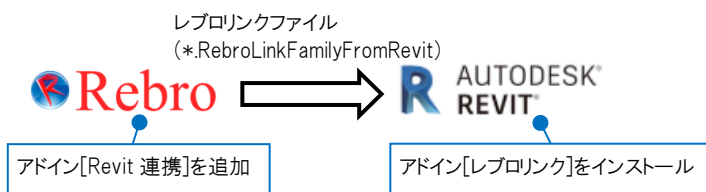
レブロから Revit®にファイルを受け渡す場合、[Revit リンク出力]または、[Revit(rvt)ファイルの保存]コマンドで保存したファイルを受け渡します。これらのコマンドを使用するには、レブロでアドインを追加します。(追加方法については、FAQ「[アドインを追加したい](#)」参照)

[Revit リンク出力]は、Revit®側のアドインで読み込み可能なレブロリンクファイル(*.RebroLinkToRevit)で出力します。

[Revit(rvt)ファイルの保存]は、Revit®で直接開くことのできるプロジェクトファイル(*.rvt)で出力します。

どちらのコマンドを使用してもレブロの図面を Revit®に受け渡すことができますが、出力される情報には違いがあります。状況に合わせて使用してください。

[Revit リンク出力]



[Revit(rvt)ファイルの保存]



▼[Revit リンク出力]の場合

配管やダクト、電気ラックなどの設備要素や機器器具などを、Revit®の部材に置き換えて読み込みが可能なレブロリンクファイル(*.RebroLinkToRevit)で出力します。

レブロで作図した要素の属性情報を受け渡しできます。

出力する対象要素は、設備要素や機器器具等に限ります。詳細は、FAQ「[Revit 連携で入出力できる要素を知りたい](#)」の「Rebro→Revit」を参照ください。

Revit®側で設備要素として使用したい場合や、レブロの機器を Revit®のファミリに置き換えて使用したい場合など、レブロ上の属性情報を利用したい場合は、[Revit リンク出力]を使用します。

●補足説明

出力したレブロリンクファイル(*.RebroLinkToRevit)を Revit®で読み込むためには、Revit®にアドイン[レブロリンク]を追加します。[レブロリンク]のダウンロードや Revit 連携については、弊社 HP>レブロの機能>アドイン機能>[Revit 連携](#)をご覧ください。

また、[レブロリンク]の操作の詳細については、弊社 HP>サポートページ>購入者専用ページ>アドインマニュアルの「[Revit 連携](#)」をご確認ください。(購入者専用ページのパスワードは、FAQ「[購入者専用ページのパスワードが分からない](#)」参照)

▼[Revit(rvt)ファイルの保存]の場合

躯体や配管、ダクト、電気ラック、機器器具などの 3D モデルを、Revit®のプロジェクトファイル(*.rvt)で出力します。レブロ上で作図した 3Dモデルを、属性情報のない DirectShape で受け渡します。

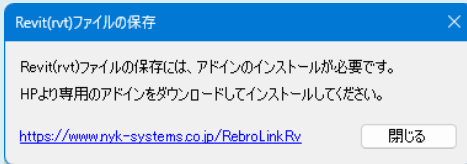
Revit®側でアドインの追加をする必要はなく、直接開くことができます。

配管やダクト、電気などの設備情報やレブロで作図した要素の属性情報は不要で、形状を主に利用したい場合は、[Revit(rvt)ファイルの保存]を使用します。

●補足説明

[Revit(rvt)ファイルの保存]を使用するには、Revit®のバージョンに合わせた「RebroLinkRv」のインストールが必要です。インストーラーは、受け渡す Revit®のバージョンに合わせて弊社 HP>レブロの機能>アドイン機能>[Revit 連携一](#)
[Revit\(rvt\)ファイルの保存](#)よりダウンロードできます。

「RebroLinkRv」がインストールされていない場合、[Revit(rvt)ファイルの保存]を起動しようとすると、下記ダイアログが表示されます。ダイアログ内の URL からダウンロードページに遷移できます。



複数のファイルバージョンの「RebroLinkRv」をインストールした場合、保存時に表示される[Revit(rvt)ファイルの保存]ダイアログの[設定]タブ-[対象の Revit バージョン]でバージョンを選択します。

